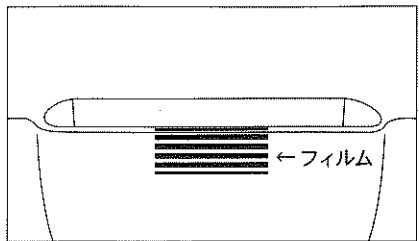
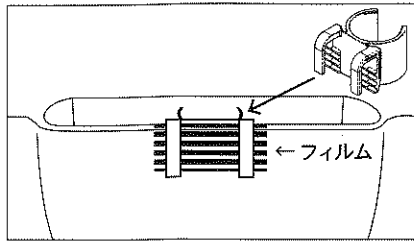


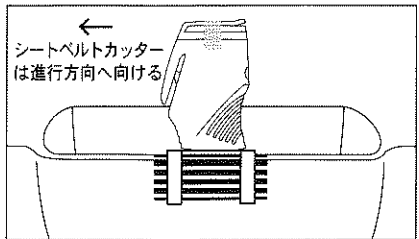
取付け方法



1.ホルダーの取付位置を決め、フィルムをセットする。(キズ防止のため)

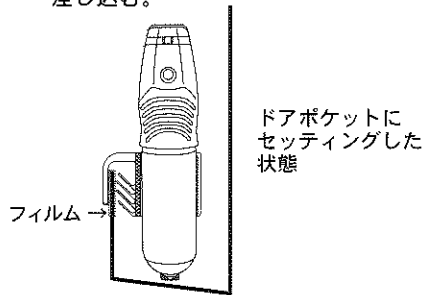


2.フィルムの上にホルダーを図のように差し込む。

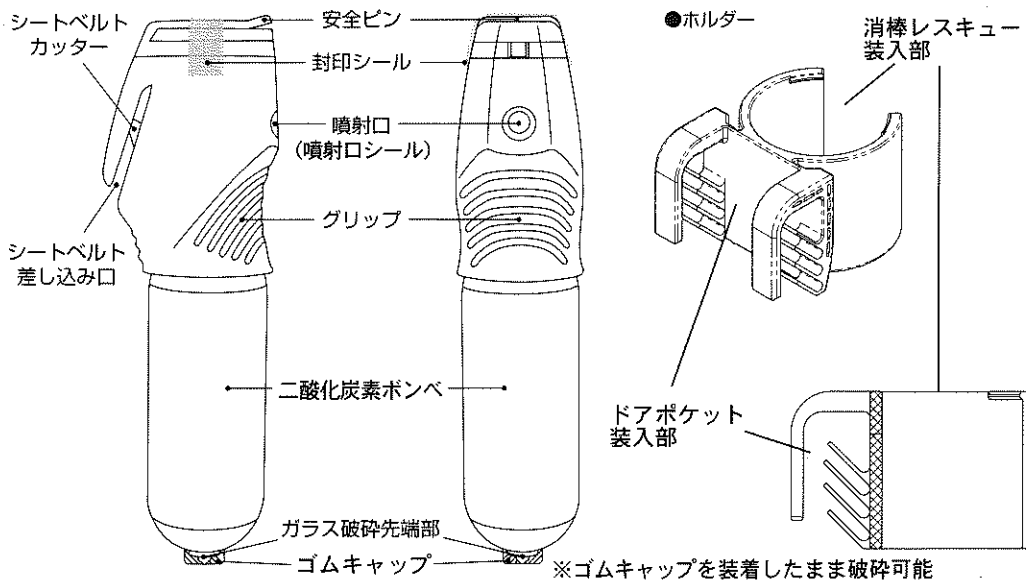


3.消棒 RESCUE をホルダーに差し込む

注)ホルダーを取り外す際は薄いプラスチックの板を横から差し込み、上に引き上げる。



構成部品



※ゴムキャップを装着したまま破碎可能

- 全体重量: 約370g
- 全体寸法: 巾6cm×奥行4.5cm×長さ19.5cm
- 消火機能使用温度範囲: 0℃～+40℃
- 届出番号: A115129102A
- メーカー保証期限: 製造年月より5年
- 放射時間: 7～10秒
- 消火薬剤の名称及び量: 二酸化炭素62g
- 標準使用期間: 製造年月より5年
- 製造年月: 本体にシール表示

緊急脱出・救出機能付エアゾール式簡易消火具

消棒 RESCUE®

取付／取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読みください。

このたびは、消棒 RESCUE をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この取付／取扱説明書は、ご使用のまえによくお読みいただき大切に保管してください。

- 当商品は車両専用です。
車両以外に取り付けた場合の責任は一切負えませんのでご承知おきください。
- 商品を譲られる場合には、この取付／取扱説明書も一緒にお渡しください。
- 本書では、運転者や他の人が傷害をおったりする可能性のあることを下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。
これらは重要ですので、しっかりお読みください。

- | | |
|------|----------------------------------|
| ⚠ 危険 | ● 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの |
| ⚠ 警告 | ● 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの |
| ⚠ 注意 | ● 指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの |

取扱い上の注意事項

1. 高温になるところに置かないでください。
2. 一度噴射したものは再使用しないでください。
3. 定期的にキズ、サビ、ヒビ割れ、シールの点検を行ってください。

⚠ 直射日光の当たらない場所に保管してください。

(高圧ガス保安法)

⚠ 警告

- 初期消火専用の消火具です。拡大火災には効果はありません。
- 天ぷら鍋の火災及びストーブの火災には絶対に使用しないでください。
- 子供だけでは絶対に使用しないでください。
- ガラス破碎先端部は、絶対に人に向けて使用しないでください。

⚠ 注意

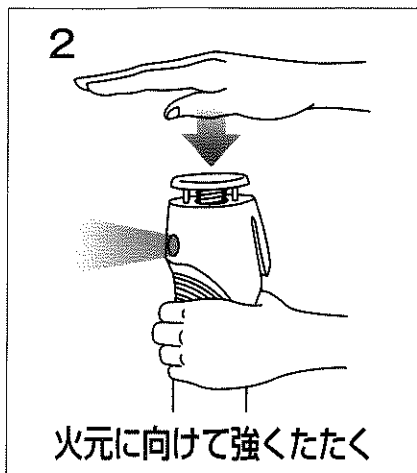
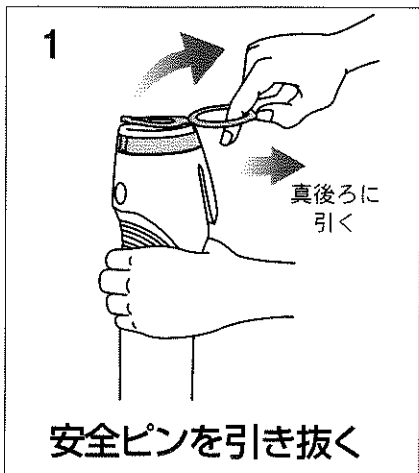
- 消火作業後は、すみやかに換気してください。
- 顔・人体に向けて二酸化炭素を噴射しないでください。
- 使用する時以外には絶対に安全ピンを外さないでください。
- 噴射口を指や手などで押さえて噴射しないで下さい。凍傷やケガに至る恐れがあります。
- 使用直後は本体のボンベは超低温になっております。直接、手・指等で触らないでください。
- カッター部では、シートベルト以外は切らないでください。
- カッター部への、シートベルトの巻き込みにご注意ください。
- ガラス破碎の際は、ガラスの破片で手を切らないように注意してください。
- フロントガラスは、フィルムをサンドウィッチ状にはさんでありますので当商品では破碎できません。
- 強化ガラスでもフィルムを張った場合には破碎できません。
- ドアガラス及びサイドガラスでも合わせガラスを使用している場合があるので、強化ガラスであることを確認して下さい。わからない場合は販売店に確認して下さい。
- 小さなお子様や幼児の手の届かない場所に設置してください。
- 水や火の中にいれたり、分解はしないでください。
- ぶつかけたり、落としたり、乱暴な扱いはしないでください。
- 事故による緊急脱出・救出及び適応火災以外には、使用しないで下さい
- 設置場所はドアポケットに設置し、トランク、グローブボックス内には設置しないでください。
- サイドエアバッグのある場合はエアバッグの装置付近には設置しないで下さい。
- 直射日光の当たらない場所に設置してください。
- 使用後又はメーカー保証期限がすぎたものは二酸化炭素を全量噴射後、各自自治体のルールに従って処分してください。二酸化炭素を残したまま処分しないでください。

(株)ワイピーシステム

使用方法

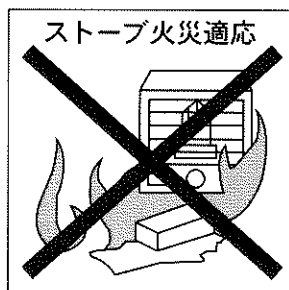
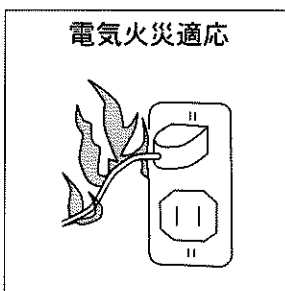
- なるべく風のない場所で使用ください。
- 自動車用クッション火災及び電気火災以外は、火元から1.5m以内で消火してください。

〈消火時使用方法〉

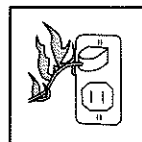


適応火災

- 図示する火災の初期消火に有効です。



消火方法と注意事項

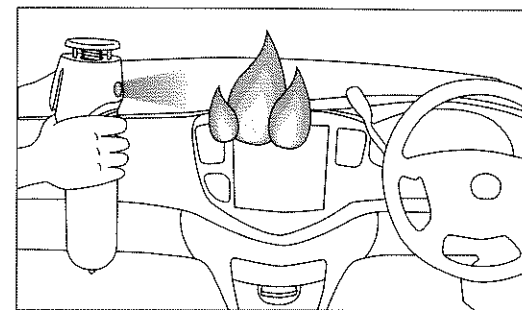


電気火災(通電状態使用可能)

- 下記のことに充分注意のうえ、使用方法の1・2の操作を行って消火してください。

■注意

火元から1.5m以内で消火してください。

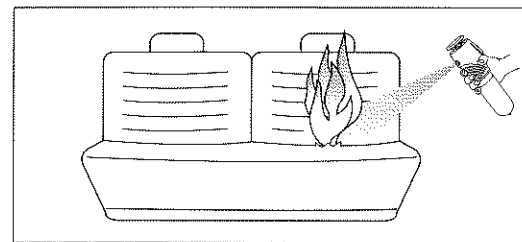


自動車用クッション火災

- 車のシート、ソファ、布団、なども含まれます。
- 下記のことに充分注意のうえ、使用方法の1・2の操作を行って消火してください。

■注意

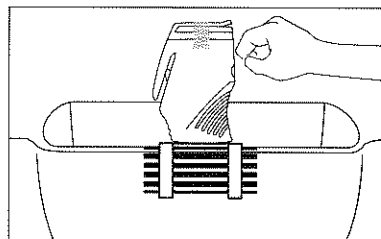
火元から1.5m以内で消火してください。



用途

- 自動車用クッション火災・電気器具等の発火
- 事故による緊急脱出(ドアガラス破碎・シートベルトカッター)

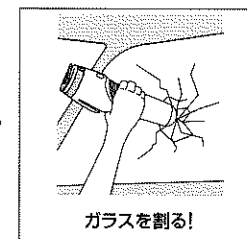
緊急脱出・救出方法



ホルダーに設置されている消棒RESCUEを引き抜く。



グリップ部をしっかり握り、シートベルトを張った状態にし、シートベルトを切る。



グリップ部をしっかり握り、ガラスに向かい、垂直にたたく。(ゴムキャップを装着したまま破碎可能)

使用温度範囲ご説明資料

Q1 本体に記載されている使用温度範囲(0~+40℃)の理由

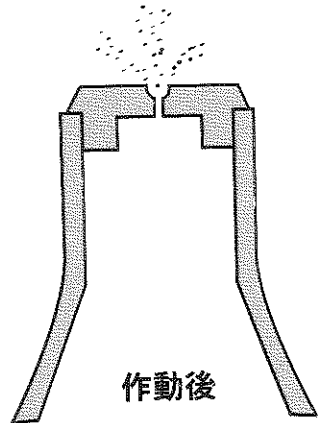
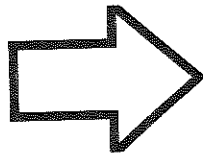
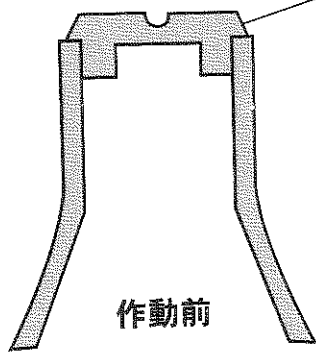
A: 表示の数値は、消防法に基づく表示温度となり、トラックやタクシーに搭載されている一般の消火器と同じ表記となります。
“消棒 RESCUE”は安全性に特に配慮された爆発しないポンペを使用している為、本製品は、-30℃~105℃の範囲で安全にご使用可能です。

Q2 ポンペの破裂や爆発の危険性に関して

A: 使用しているCO2ポンペは、約112℃~155℃の間で装着している安全装置「安全封板」が自動的に作動し、中のCO2を少しずつ放出する特殊機構を備えていますので、爆発や破裂の心配はありません。(図1)

《図1》 安全封板図

安全封板



※約112℃~約155℃の間で装着している安全装置「安全封板」が自動的に作動

※上記の様にポンペメーカーによる徹底的な安全基準を基に、本製品は製造されています。